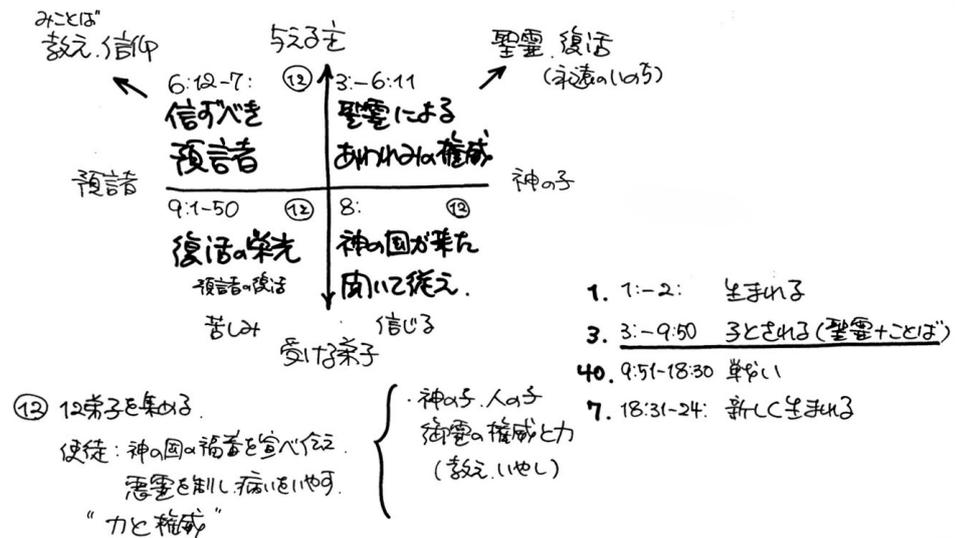




## ルカ福音書3:-9:50

ルカ 3:-9:50

2017.2.3



ルカ福音書3章から9章50節まで。ルカ福音書全体を4つに分けて1章から2章は「生まれる」。3章から9章50節は「子とされる」。その後の9章51節からは「戦い」。例え話がたくさん出てきます。戦いがある、18章の31節から「新しく生まれる」という段落のこの2番目です。

3章から9章50節は「御霊が与えられること」と「みことばが与えられる」ということで、ペンテコステの成就を連想するところです。この中自体も1、3、40、7というような感じですが、この中に御霊が与えられて、復活するというので、その全体もこの中に縮小されているということです。

3章1節からは、バプテスマのヨハネからバプテスマを受けるというところです。まむしのすえと戦って、恵みの権威が与えられている。あわれみの権威が与えられているので、罪を赦す権威。取税人と食べる。安息日に人を癒すということが、この最初の段落ですね。御霊によってあわれみを与えるという権威が与えられています。神の子であるということです。

次の段落は平地の説教というものから始まります。平地の説教が2段落あって、この中でも「預言者に対して」「偽預言者に対して」という偽善者がここにいますね。「聞いて行こう」「聞いて行かない」と。次のところに「百人隊長」「バプテスマのヨハネの弟子たちの話」があってまた今度「香油の女」というところがありますけれども、香油

の女のところにも、「もしこの人が預言者ならば」というようなことを言います。この「大預言者が蘇ったんだ」「預言者以上の者が」と言って、この預言者のところがありますけれど、「みことばを与える信ずべき預言者だ」というのがこの2番目の段落です。

8章と9章が少し短めですね。種まきのたとえと創造である被造物、悪魔、そして娘のところ汚れと死という敵ですね。従えなければいけない被造物。そして、悪魔と死と汚れということに対して戦っているところが8章ですね。

9章はパンの話と復活の栄光。山に登って復活の栄光を見ているというところです。

この辺の段落を分けるのが難しかったはずなんです。各段落に「12弟子を選び出し」というのがついているんです。3章6節からのところはないですね。6章からの段落にも「12弟子を選んで」というのがあります。8章の出だしにも「神の御国の福音を説きながら12弟子が仕えている」「悪霊を追い出し病が癒された婦人が持ち物を持ってついてきている」というのが、8章の最初にあります。9章のところも出だしに「12弟子を集めて悪霊を制し病気を癒す力と権威が与えられた神の国を宣べ伝えている」と。9章は「何も持って行くな」と言っています。8章は「持って仕える」、9章は「持たないで仕える」みたいな財産の話が、並行しています。

この4つ、3章から9章50節までのところを4つに分けた時に、この12、12、12と書いてあるところに、神の国の福音を宣べ伝えて、悪霊を制し、病をいやす力と権威ということが、この分けている鍵になっていますね。印になっていますので、力と権威を御霊によって与えられたイエス。その権威を弟子たちに与えようとしてこの導きがありますということが、ここで区切られていることで分かるかと思います。

それで3章から9章50節までの全体のつながりを見ると、この4つに分けられたもののこのクロスしているところ、御霊が与えられるということで始まって(3:-6:11)、復活するところで終わっています(9:1-50)。それと、みことば、教え。信ずべき教えが与えられて(6:12-7:)、その教えに聞き従え(8:)ということが強調されています。そして信じると。教えを与えられたら、それを信じる御霊が与えられているということは、その苦しみの中で忠実に忍耐するなら、永遠の命が与えられるということ。この命の約束という命が与えられることと、教え、みことばが与えられることがペンテコステ。ペンテコステはそういうものなんだね。みことばと御霊の時ですから、この宝物2つ、「御霊」と「みことば」。それがこの3章から9章50節の段落で大きくクロスしているところです。こちら側(6:12-7:)(9:1-50)は「預言者」ということが強調されている感じですね。復活のところも預言者が復活するというふうに言いますよね。みことばは死なないという感じですかね。こちら側(3:-6:11)(8:)は「神の子」である、神の子とされるようなところが共通点かな。長い方の3章から6章の(3:-6:11)(6:12-7:)ところは与えるほう。主イエスは与えるお方であると。それを受ける弟子(8:)(9:1-50)は信頼する。信じることと、苦しみの中でも全てを捨てて従うなら復活するということに信頼することが、こちら(8:)(9:1-50)の段落です。この3章から9章50節が子とされるということの、子とされたイエスが子供たちを集めているというのがこの段落になると思います。